

協議事項21

防災教育について

防災教育について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和6年12月9日提出

神戸市教育委員会事務局
事務局長 高田 純

「震災30年 ともしびプロジェクト」防災教育の取組について

1. 「ともしび プロジェクト」について

これまで教員や保護者・地域が震災体験から学んだ教訓を子供たちに伝えてきたところであるが、これまで防災教育を受けてきた世代が伝える側になる転換期を迎えている。
令和6年度は、震災から30年を迎える節目の年度として、全学校園で防災教育に重点的に取り組む「ともしびプロジェクト」を展開している。

2. 具体的な取組み

(1) 神戸市教育委員会の取組み

○防災啓発ロック画面の配信

- ・児童生徒用G I G A端末に日々、防災を意識できる画面を表示する。



○防災教育副読本「しあわせはこぼろ(幸せ運ぼう)」の改訂

- ・令和7年4月 全市小中学校へ配付予定

○保護者から次世代へ伝えたい防災メッセージの募集

- ・応募期間：10月28日～11月15日→応募数 207通。
- ・頂いたメッセージの一部は、ホームページ等を通して公開する予定。

(2) 学校園の取組み

○防災教育推進校園の取組

灘すずかけ幼稚園 令和6年10月11日

「親子で防災リュックづくり」(神戸学院大学と連携)

- ・大学生が主体となり、防災リュックの中身について親子で考えるワークショップを開催。



若宮小学校 令和6年11月8日

防災啓発ロック画面を活用した授業

- ・災害ごとに、どこに、どうやって逃げるか防災啓発ロック画面を通して、緊急避難場所等を考える授業。



<p>井吹西小学校 令和7年1月14日 「福島県出身の大学生を招いて児童と交流」 ～テーマ「若者が考える福島と神戸の未来」～</p>	
<p>太田中学校 令和6年8月～令和7年1月 「ダンスDE防災」 ・プロのダンサーの指導のもと、生徒が主体となってダンスや映像作品を制作し、震災体験から学んだ教訓を次の世代に伝える学習を行う。</p>	
<p>鷹匠中学校 令和6年10月～令和7年1月 「合唱曲『ともしび』制作」 ・震災の教訓を次世代へと伝えるため、防災士でプロのシンガーソングライターの指導のもと、生徒が主体となって歌詞を考え、合唱曲を制作する。</p>	
<p>科学技術高等学校 令和7年1月26日 「土砂災害ミニ実験模型による防災啓発活動」 ・地域防災イベントで土砂災害模型をつかって簡易実験を行い、小さな子供たちも興味関心が高まるような普及啓発活動を行う。</p>	

○推進校以外の取組

<p>桜の宮中学校 令和6年10月～令和7年1月 「演劇で伝える防災」 ・プロの演出家の演技指導のもと、生徒・観客ともに没入感を与えられる、イマーシブ型（観客参加型）防災演劇を制作する。</p>	
---	---

(3) 地域防災イベントへの参加

・各校、防災教育で学習した成果をブース出展等で発表予定。

①令和7年1月19日 「神戸防災のつどい2025」

(参加校) 鷹匠中学校、桜の宮中学校、太田中学校、科学技術高等学校

②令和7年1月26日 「イザ!美かえる大キャラバン!2025」

(HAT神戸連携防災イベント)

(参加校) 井吹西小学校、鷹匠中学校、科学技術高等学校、いぶき明生支援学校